



片瀬山防災会

片瀬山防災だより

第4号 2007年7月31日

防災会が目指していること：

☆各家庭での防災の備え ☆近隣助け合いの防災づくり ☆片瀬山全体での防災づくり
いざという時、ご近所とのつながりは大切です。一番良い方法を皆で考えましょう！

近隣ネットの構築に取り組み開始：

防災について、今までいかに関心が薄かったかを痛感しています。震災発生時、片瀬山には行政からの早急な救助活動は望めないそうです。いざという時、ご近所同士の声掛けや助け合いがあれば心強いですね。1丁目は近隣ネットの構築に取り組み始めたばかりです。皆様のご協力を宜しくお願いいたします。（1丁目 小俣玲子）



ファイリング：

「片瀬山防災だより」いざと言う時の為に、重要な資料となります。クリアファイルに順番に綴っていくと、防災の資料が出来上がってきます。と、初防災会出席時、お話を聞き“ファイルね。あるある”と思っていました。さて、その後、片瀬山防災だより第3号が手元に届きました。“ファイルに綴らなくっちゃね！！”とファイルを開くと・・・
防災会のみなさん、ごめんなさい。そう、我が家には、第2号がありません。これを、お読みのみなさん！！読んだらファイルへお忘れなく。（2丁目 高橋枝美子）



大災害はいつ来るか、わからない！：

かつて、「災害は忘れたころにやって来る」といわれた。しかし、この頃災害の頻度は増し、次から次へと発生している。災害はいつ起こるのかわからないのだ。しかも、大災害の多くは自然災害（天災）であり、防ぎようがない。「備えあれば憂いなし」などとのんきなことをいっては済まされない。そこで人災の防止に努めるとともに、災害が発生したときの被害を最小にする方策が重要となる。その意味で、片瀬山防災会の今後の活動に期待したい。（片瀬山3丁目 立脇和夫）



「近隣ネット」作りにご協力をお願いします：

災害が起こった時、まず第一にすることは、自分の身を守る「自助」です。次にすることはご近所の助け合いです。昨18年、防災会では「近隣ネット」を各丁目自治会毎に構築し、つなぎ合わせて片瀬山全体の近隣助け合い体制を作ることを合意決定しました。具体的にどのように作るかは各丁目自治会にお任せしました。個人情報の問題を越えて、人命救助を最優先にしたいと思います。近隣ネットづくりの趣旨を良く理解頂き、ご協力をお願いいたします。（片瀬山防災会会長 岩本義久）

近隣ネット
片瀬山防災会

震度6・新潟県中越沖地震が発生：

新潟県中越地震から2年9カ月。台風一過で3連休最後の7月16日、再び新潟県を襲った震度6強の地震。死者10人、重軽傷者1800人、避難者1万人、住宅の被害全壊960棟、半壊761棟にのぼる。現在も多くの人達が避難生活を余儀なくされています。東京電力柏崎刈羽原子力発電所にも被害が発生、国民に不安を与えています。会報にこの事実を掲載しなければならないと思い、産経新聞社の写真を掲載いたします。災害に備えましょう。（広報グループリーダー 仁科修二）





11月17日〔土〕は避難・防災訓練の日です。

恒例の片瀬山連合自治会主催の防災訓練を11月17日に実施いたします。

今年は初の避難訓練を防災訓練と連続して行います。

大災害発生時の避難の際、単独行動は大変危険です。ご近所同士声を掛け合い、先ず近くに集まって、安否を確認してから集団で行動することが大切です。訓練を通してしっかり身に付けておきましょう。



避難路は決まっている？



去年の防災訓練風景



広域避難場所：片瀬中学校



非常時には片瀬中学校が避難施設になります。

阪神神戸大震災、また中越大地震の報道で学校が一時的な避難場所となって大勢の人々が生活する光景が記憶に残っていると思います。片瀬山地区では片瀬中学が非常時には避難施設として活用されます。収容人数は700名が想定されています。そのような非常時にどうやって混乱なく生活する場としての避難施設が運営されるのでしょうか。

建前では避難してきた人たちが役目を分担して運営するという事になっていますが、どうでしょうか。片瀬山防災会では、その年度の防災会幹事と自治会役員が協働して避難施設運営組織を立ち上げる仕組みを作ろうとしています。非常時にはその年度の連合自治会長が避難施設運営委員会の委員長、防災会会長が副委員長に自動的に任命されることになりました。そして機能別に班が構成され、各班のリーダーやスタッフには各自治会の役員がその任にあたります。



(柏崎市の避難所)



防災の知恵：いざという時、家族との連絡は？

お父さんは仕事で家にはおらず、お母さんも外出です。子供たちの安否は、連絡と確認の方法は？先ず、家族の安否確認が出来ないと、不安と混乱を生じます。避難するにも仕様がありません。

この為には、緊急連絡カードを作って、家族で確認しておきましょう。

そして、地震時に落ち合う場所をあらかじめ決めておきましょう。

お隣は高齢者世帯、どんな状態か気になります。世代を超えて、ご近所の方とお互いに安否確認が出来る助け合いの関係を持っていると心強いです。

災害状況はどうか、的確な情報を得てから、落ち着いて行動しましょう。

市の防災無線・広報車・ホームページ、ラジオ放送、NTT災害用伝言ダイヤルなどを利用して、行動してください。日頃からの準備が肝要です。

れんらくカード		ひなんするがっこう	
なまえ	男・女	ひなんするがっこう	
じゆうしよ	さんね	こゝいきひなんばしよ	
なんじ	ねん びつ じつ	かぞへがまらねばなれになつたよび	
なんじ	アールシー	れんらくするほう	なまえ
なんじ		れんらくするほう	じゆうしよ
なんじ		れんらくするほう	なまえ
なんじ		れんらくするほう	じゆうしよ
なんじ		れんらくするほう	なまえ
なんじ		れんらくするほう	じゆうしよ



編集後記：編集委員は、鈴木、仁科。近隣ネットマークは案です。会報は年4回の発行。新潟県中越沖地震の惨状に胸が痛みます。1日も早い復興をお祈り致します。



片瀬山防災会

発行：片瀬山防災会

〒251-0033 神奈川県藤沢市片瀬山3-22-9

電話0466-25-6739 ファックス25-2222 (岩本)